



地域とともに歩み、
地域の未来を拓く学校

湖南省立石部小学校
校報第135号

令和2年(2020年)9月15日

文責：校長 法山由紀子

令和2年度運動会実施にあたって 大事にしたい二つのこと

運動会が週末に近づいてきました。大会スローガンは、「ソーシャルディスタンスでも 心はひとつ! 我らの勝利に 自しゅくはない 6色の輝きで NO1をめざせ!」

最高学年6年生を中心に、本番に向かって、全校で進んでいるところです。

さて、運動会の開催にあたっては、新型コロナウイルスの感染拡大が心配される中で、どのような形なら安全に行えるか。そもそも運動会を何のためにするのか原点に帰って考えるところから始めなければ・・・こうやって、6月から今日に至るまで、何度も何度も校内で話し合いを重ねてきました。

今年度に入り、本校では、新型コロナウイルスの影響で、全校の子どもたちが一堂に集まるという機会を一度ももつことができていません。入学式は新入生と6年生のみの参加。また、始業式や終業式もテレビ放送。避難訓練も学年ごとに実施。集団下校も分散して集まり時間差で帰る。児童集会も担当の高学年が各教室を回る等々・・・全校の仲間の姿を知る機会ということがなかったのです。この先も、全校みんなで集まって、一緒に何かを行う機会が持てるという保証はありません。

そこで、石部小学校では、今年度の運動会において、「密を避けながら、全員が運動場に集まり、仲間のがんばりや成長した姿をお互いに見守り、たたえ合う大切な機会とすること」をまず一番の柱としました。

そこには、5、6年生が中心となってどんな運動会にしたいのかを考え、その思いを生かす場にする。そして、率先して下学年をリードする場にする。また、下学年はそんな先輩の姿にあこがれを抱き、よき伝統を継承していく機会にしていこう・・・そんな願いがこめられています。

そして、もう一つの大事な柱を、「コロナ禍の中の運動会であるということを忘れず、感染予防策を講じて、安全に大会を行う」こととしました。

1年生から6年生まで全員が、密を避けて仲間を応援できるよう、さらに熱中症にも対応できるように、例年より児童テントの数を三倍に増やすことにしました。また、種目を精選し、無理のない進行を心がけていくこととしました。合わせて、観覧いただく方の安全を守るためにもできる限りの対応策を講じていくこととしました。

このようなことから、保護者様には、観覧スペースや参観のできる時間帯、種目や人数に制限を設けざるを得ない状況となり、ご協力をお願いすることとなりました。また、例年ならご招待していた地域の方のご観覧もご遠慮いただくこととなりました。

「全校の子どもたちがみんなでいっしょにやりとげたと実感できる運動会」を安全に実施したいという趣旨にどうかご理解いただき、ご協力いただければ幸いです。

いしべっ子は、保護者、地域の皆さんにお支えいただいているからこそ、どんな状況でもきつとやってくれると私は信じています。

